

二級河川朝立川津波遡上浸水想定図

1) 説明文

- この図は、平成22年度津波遡上被害調査委託業務として、愛媛県南予地方建設部が作成したものであり、朝立川等に津波が遡上した場合に予想される浸水区域、浸水深さを示したものです。
- この浸水区域、浸水深さは、朝立川等河口部の潮位が朔望平均水面（IP+1.01m）時に中央防災会議が想定している想定東南海・南海地震（マグニチュード0.6）が発生した場合、直ちに河口部付近は地震により25cm沈下し、かつ朝立川河口部にIP+4.6mの津波が到達した場合について、国土地理院の電子地形図（10mメッシュ）および都市計画図を基にシミュレーションにより求めたものです。
- なお、この図に着色している範囲以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深と異なる場合があります。

2) 諸条件

- その他の条件 河川流量 1 m³/s（年平均水位0.29m）

凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5~1.0m未満の区域
- 1.0~2.0m未満の区域
- 2.0~3.0m未満の区域
- 3.0~4.0m未満の区域

